

平成 2 7 年 第 2 回 定 例 会

建 設 水 道 常 任 委 員 会  
会 議 録

期 日 : 平 成 2 7 年 6 月 8 日 ( 月 )

場 所 : 大 曲 庁 舎 第 3 委 員 会 室

## 平成27年第2回大仙市議会定例会会議録

日 時：平成27年6月8日（月曜日）午後1時00分～午後1時40分

会 場：大曲庁舎 第3委員会室

### 出席委員（4人）

委員長	23番	千葉	健	副委員長	6番	佐藤	育男
委員	4番	佐藤	隆盛	委員	25番	本間	輝男

### 欠席委員（3人）

委員	18番	小松	栄治	委員	19番	渡邊	秀俊
委員	22番	高橋	敏英				

### 説明のため出席した者

建設部長	朝田	司	上下水道部長	岩谷	友一郎
次長兼道路河川課長	進藤	孝雄	次長兼水道課長	井関	由紀夫
道路河川課参事	佐々木	英雄	水道課参事	佐々木	廣美
道路河川課参事	今	和則	下水道課長	五十嵐	直樹
都市管理課長	小田原	大造	下水道課参事	佐藤	恭悦
都市管理課参事	中村	強	神岡支所農林建設課長	藤井	一博
建築住宅課長	古屋	利彦	西仙北支所農林建設課長	佐藤	弥
建築住宅課参事	佐々木	富夫	中仙支所農林建設課長	佐藤	吉一
建築住宅課参事	讚岐	敬司	協和支所農林建設課長	阿部	慶彦
土地区画整理事務所長	吉野	一利	南外支所農林建設課長	佐藤	高義
土地区画整理事務所参事	矢野	良和	仙北支所農林建設課長	進藤	一好
			太田支所農林建設課長	佐藤	朗

### 議会事務局職員出席

副主幹 富樫 康隆

審査議案等

議案第 8 2 号 平成 2 7 年度大仙市一般会計補正予算（第 2 号）

議案第 8 4 号 財産の取得について

議案第 8 5 号 淀川地区簡易水道水源施設整備工事請負契約の締結について

---

午後1時00分 開 会

○委員長（千葉 健） はい、どうもお疲れ様でございます。午後からの招集ということで、万障繰り合わせてご出席していただきましてありがとうございます。時節はこのとおり毎日好天続きで、夏を思わせるような天気、日照不足ということで、今日の委員会も日照りの状態で、3人欠席のようでございますので、なんとか審査のほうは慎重審査のうえ、ひとつよろしくお願い申し上げます。

開会前ではありますが、平成27年度の定期人事異動で職員の異動がありましたので、当局から出席職員の紹介をお願いいたします。はじめに建設部からお願いいたします。朝田部長。

○建設部長（朝田 司） （出席職員の紹介）

○委員長（千葉 健） 次に上下水道部、お願いいたします。岩谷部長。

○上下水道部長（岩谷友一郎） （出席職員の紹介）

○委員長（千葉 健） はい、ありがとうございました。それではただ今より、建設水道常任委員会を開会いたします。欠席の届出が18番小松栄治委員、それから高橋敏英委員、それから同じく欠席、渡邊秀俊さんの3委員は欠席でございます。それでは、当委員会に付託された事件について別紙日程表のとおり審査いたしますので、よろしくお願いいたします。なお、正確な会議録の作成のため、発言をする際は委員長の許可を得たあとで、マイクのスイッチを入れてからお願いいたします。

それでは、審査に入る前に当局からあいさつがありましたらお願いいたします。はじめに朝田建設部長。

○建設部長（朝田 司） あらためまして、建設水道常任委員の皆様には会期中のお疲れのところ、常任委員会を開催いただき、誠にありがとうございます。

さて、4年続きの豪雪を受け、昨年12月の降雪状況から、5年連続の豪雪を覚悟していたところでありましたが、今年1・2月の降雪量が少なく、安心したところであります。また、例年、雪解け水や大雨などの洪水被害も心配な時期でありましたが、この4月・5月はそういった被害も無かったわけでありましたが、今後予想されます梅雨時の大雨や台風被害への災害対応には、職員一同万全の体制で対処してまいります。

また、27年度の各所管の主な事業についてであります。概ね計画通りに進捗しておりますが、社会資本整備総合交付金の交付率が予想以上に削減されておることから、場合によっては事業の延伸・縮小・計画の見直し等の対応を検討せざるを

得ない状況であります。今後の国・県への働きかけも含め、追加補正を強く要望してまいります。

さて、今時定例会でご審議をお願いいたします案件は、道路維持管理に伴う備品購入費と、道路改良事業に伴う委託料に係る補正予算2件のほか、本会議第3日に追加提案いたしました財産の取得についてであります。詳しい内容につきましては担当課長がご説明申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご承認たまわりますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。以上です。

○委員長（千葉 健） はい、ありがとうございます。次に岩谷上下水道部長。はい、お願いします。

○上下水道部長（岩谷友一郎） あらためまして、委員の皆様には常任委員会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

さて、上下水道部に係る懸案事項としまして、この4月からほとんど降雨が無く、心配されるのが渇水であります。ご存じのとおり大仙市としましては、南外、それから大沢郷、刈和野第5水源のこの3地区が雄物川から取水してございますけれども、一定の水位以上の時のみ取水できるということで、今、基準となる水位の所まであと10cmぐらいの所までできております。この後の降雨が待たれるところでございます。

さて、上下水道部から今回ご審議いただきます案件は、5月8日の建設水道所管事務調査で現地を視察していただきました、27年度・28年度の2カ年の工事予定をしている協和淀川地区簡易水道水源施設整備工事請負契約の締結につきまして、議会の議決をお願いするものであります。本案につきましては実施設計の27年度単価の置き換えや、新水源に係る計画の最終確認に作業を行い、6月2日に仮契約となり、今回追加提案させていただくものであります。詳細につきましては井関水道課長がご説明申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

なお、上下水終了後、簡易水道及び共同飲用水道施設整備事業費補助金交付要綱の改正案についての委員会協議会と、下水道無届工事のその後の調査結果についての委員会説明会をお願いしております。委員の皆様には、よろしくご協議賜りますようお願い申しあげまして、あいさつとさせていただきます。以上です。

○委員長（千葉 健） ありがとうございます。

---

○委員長（千葉 健） それではさっそく審査に入ります。議案第82号「平成27

年度大仙市一般会計補正予算（第2号）」を議題といたします。当局の説明を求めます。進藤次長。はい、お願いします。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） それでは議案第82号「平成27年度大仙市一般会計補正予算（第2号）」道路河川課所管分につきまして、ご説明申し上げます。

歳出についてご説明申し上げます。資料No.2の平成27年度補正予算書の14ページと、資料No.2-1事業説明書は同じく14ページを併せてお開き願います。8款「土木費」2項「道路橋りょう費」2目「道路維持費」10事業「道路維持管理費」は386万7千円の補正をお願いし、補正後の額を3億1,353万4千円とするものであります。市道につきましては、常に適切な道路パトロールを行い、損傷箇所の発見に努めるとともに、速やかな修繕が必要とされております。これまで使用しておりました道路維持車につきましては、購入から15年が経過し、走行距離も17万キロを超えた車両で老朽化が進んでおり、この2月にエンジンが故障し修理不能な状態でありました。現在は代用車での道路維持作業やパトロール業務を行っておりますが、通常時はもとより災害など緊急時の通行規制や、迅速な修繕対応には必要不可欠な車両であります。今回の補正予算につきましては、道路交通法施行令第14条の2及び同条の3を満たす車両の保安基準により、黄色の灯火設備を施すなど、公安委員会の指定を受ける道路維持車両の購入をお願いするものであります。

資料「道路-1」の1ページ目をお開き願います。道路維持車両の参考として、従前の維持車両の写真を添付しております。黄色の灯火設備等を設置し、公安委員会の指定を受けた車両として活用していたものでありまして、右側に記載しております関係法令と併せてご参照願います。財源内訳につきましては、一般財源386万7千円を充当してございます。

次に、事業説明書は15ページをお開き願います。4目「道路新設改良費」32事業「道路改良事業費」は835万8千円の補正をお願いし、補正後の額を1億5,164万2千円とするものであります。（仮称）市道大花福田団地線は、6月20日に開通いたします大曲駅前第二地区土地区画整理事業地内の都市計画道路「中通線」に接続する道路であります。整備する区間は仙北地域から大仙市中心部を連絡する重要な幹線道路となり、中通線と一般国道13号を結ぶ最短ルートになることから、通勤通学など広範囲な日常生活道路として使用される事が期待されます。この路線につきましては平成24年度より事業計画があり、地元地権者と再三にわたり協議を重ねてまいりましたが、この3月によく地権者からの内諾及び大仙警

察署の交通規制担当との事前協議が整ったことにより、年度途中での予算計上ではありますが、平成29年度事業完了に向けての調査費の補正であります。よって、この件についてはご理解願いたいと思います。歳出の主な内訳であります。13節「委託料」835万8千円は、今年度の調査業務として、延長139mの路線測量及び詳細設計、約2,600㎡の用地測量、地目ごと4筆の不動産鑑定評価、2棟の建築物と4戸の工作物及び動産調査算定を行うものであり、来年度の用地買収並びに物件移転補償等に向けた業務を実施するものでございます。

資料「道路-1」の2ページ目をお開き願います。（仮称）大花福田団地線の計画平面図を添付してございます。道路施工延長は約139m、道路幅員は7mを基本としており、この道路線形に関わる地権者は最大で8名でございます。また、都市計画道路「中通線」側からと、仙北地域方面は福田団地3号線「川福橋」付近からの現況写真も添付しておりますのでご参照願います。

最後に、先ほども申し上げましたが、年度途中での道路改良事業の予算計上で恐縮ではございますけれども、早期の完成が望まれる幹線道路でありますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上、議案第82号「平成27年度大仙市一般会計補正予算（第2号）」道路河川課所管分につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上です。

○委員長（千葉 健） 当局の説明が終了しました。これより質疑を行います。

質疑のある方は、お願いいたします。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤隆盛） あの、大花福田団地の件だども、今ようやく、こう、線引きされたども、当初、あそこの佐藤さんのとこ、こう、なんといふかな、屋敷を2分されるんた感じだと。それでうまくねえとかって。これ見れば、へば、佐藤さんのとこ、これどっちさが寄るなだすべ。ちよとよくわかんねえ。そこちよっと。

○委員長（千葉 健） はい、次長。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 当初計画であれば、このように青い線で、当初計画線形ということで、区28号という道路さ抜けるようなかたちで、地権者の方の土地を2分するようなかたちで道路計画をしてございましたけれども、まずもって交通規制の関係、それと地権者からの要望がございまして、道路の線形を下側の用地の部分の端側に寄せたということになってございます。それで、もう一点につきましては、ここの線につきましては道路の規制が非常に厳しいところでございまして、中通線とタッチする部分につきましては、交差点協議当然必要なわけではご

ございますけれども、既存の道路の乗り入れ部分についても制約がございまして、この線形になったということでございます。

○委員（佐藤隆盛） はい。いいすか。

○委員長（千葉 健） どうぞ。

○委員（佐藤隆盛） 先程、用地買収とか移転とか言ったけども、あれですか、代替えとかという感じでなく、いくなだべか、それ。あくまでも買収ということですか。まあ、当初そういうこともあったので。

○委員長（千葉 健） はい、進藤次長。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） この件につきましては、あくまでも買収というかたちで進めてございます。

○委員長（千葉 健） ほかに質問ありませんか。はい、佐藤委員。

○副委員長（佐藤育男） 幹線道路で大変こう、何て言いますか、整備すれば効果のある道路だなあというふうに私も思ってます。川福橋の幅員はどのくらいあるものですか、橋の幅員って。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 川福橋については幅員が、有効幅員として約6mでございます。

○副委員長（佐藤育男） へば、2車線でまず大丈夫なことだすな。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 川福橋の幅員が6mとして、現在の道路計画は幅員は7mというふうに計画してございますが、用地につきましては将来的なことを考慮して、10mの用地を確保しておくという計画でございます。この道路は幹線道路でございますので、将来的に右折レーンの必要性があるのではないかという考えでございまして、用地だけは10mの確保を今計画してございます。

○副委員長（佐藤育男） いいすか。もう一つ。

○委員長（千葉 健） はい、どうぞ。

○副委員長（佐藤育男） 将来、歩道が必要になるとかというようなことは考えられるものですか。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 歩道計画というのは、ここにはございません。ほかの、歩道に代わるような道路が目まぐるしく貼り付いておりますので、あくまでも交通量が1.5倍から2倍くらいは増えるのではないかという想定で、このようなかたちで片側1車線ずつ+右折レーンのラインを1線設けているということでございます。

○副委員長（佐藤育男） もう一つ、悪いっす。またちょっと戻ります。川福橋の件



です。ということは、6 mということは、将来ともにその橋をどうのこうのしようということにはならないということによろしいでしょうか。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 川福橋につきましては、今現在、拡幅については計画ではございませんけれども、この橋は橋梁長寿命化計画において緊急度・優先順位の高い橋でございます。よって、補修に関しましては今年度調査設計、来年度着工・修繕する計画となっております。

○副委員長（佐藤育男） 幅員がどうのこうのではなくて、橋の長寿命化ということですか。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） あくまでも現状の幅で、補修を掛けるという計画でございます。

○副委員長（佐藤育男） はい、わかりました。ありがとうございます。

○委員長（千葉 健） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） 川福橋の件についてだすども、これ、中仙で今、仮設で応急処置している橋の次に危ない橋と言われているようですので、今、次長が言ったように、これ、耐震そのもので補強でできるのか、架け替えするのかというところまで市長協議に入っていると思うんだけど、今のところは架け替えという考え方は無いけれども、総合的にこれ、補助対象とかなるような、全体的に補助対象をどこさもって行くのか、そこら辺ちょっと具体的に。駅前開発ではできないと思うけれども、市街地再開発の問題とかの補助事業をどう捉えるのか、そこちょっとお願いします。

○委員長（千葉 健） はい、次長。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 今、道路河川課で橋梁長寿命化計画、うちのほうで計画を持つてる橋梁の長寿命化計画の中では、橋梁の掛け替えではなくて、あくまでも床版の打ち替え、それから防水層の設置、この防水層の設置というのが非常に重要な部分でございます。大仙市の橋にはそのほとんどが防水層の設置がされてございませんので、これはまずやらなければいけないと。それと、土砂化が進んでいる路盤の改良、置換えということで、最後に表層をかけて仕上げをするという計画でございます。それで、いずれ、この都市計画区域内にこう入り込む重要な橋でございますので、これの優先度は当然高くなるわけで、今年度調査、来年、交付金事業として。今年は坂の上橋、それから大曲地域の丸子橋、こちらやりますけれども、坂の上橋を最優先にして、次に丸子橋。で、来年度は川福橋と丸子橋の一部を施工するというようなかたちでございます。で、交付金の充当率というのが、先程うちの部長のあいさつにもございましたけれども、非常に交付率が下げられて

ございまして、今年度も約64%というかたちになってございますけれども、橋梁は途中で止めることができませんので、優先課題としてこの橋に取り組んでいくというような考えを持ってございます。

○委員長（千葉 健） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） 次長、この大花福田団地線に関してすよ、仙北地域からも、国道からの分岐点から、新しい中通線までの延長を掛けた場合の総工費というのはやっぱり、10億から15億くらいはみてるすか。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 全体でしょうか。

○委員（本間輝男） うん、全体。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 全体の道路改良、橋も含めての総事業費というのは、そこまで算定した資料はございませんけれども、全幅を考えた場合、この延長からして10億、15億というのは当然必要になってくる金額だと思います。

○委員長（千葉 健） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） いずれ駅前ができて、合併以来旧町村では、「駅前だけが良くなって、合併した町村はさっぱりだ」というようなことで、なかなか市民の方々に納得できないというような方が多いなかで、この路線というのは、やっぱり、合併以来、新規の道路としては非常に効果的な、私は、道路だと思っています。なんとかひとつ、国に強力な支援をお願いして、早急な改良をお願いすることをお願いして、質問を終わります。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） ありがたいお言葉をいただきました。実はこれは平成24年度からの、進めてまいりました事業で、当初は平成27年度完成を目指すということで一般質問答えてございますけれども、ようやくこの3月に内諾をいただいたということで、これから取り急ぎ事業を進めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長（千葉 健） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） はい、質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論はありますか

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（千葉 健） 次に、議案第84号「財産の取得について」を議題といたします。当局の説明を求めます。進藤次長。

○次長兼道路河川課長（進藤孝雄） それでは議案第84号「財産の取得について」ご説明申し上げます。

資料No.3 議案書の1ページと、お手元にお配りしております資料「道路-2」の1ページを併せてお開き願います。財産の取得につきましては、大仙市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3号に基づき、議会の議決をお願いするものであります。内容といたしましては、防災・安全社会資本整備交付金事業により除雪機械を購入するものであります。このたびは、西仙北及び太田地域にそれぞれ配備します「除雪ドーザ13t級」2台を購入しようとするものであります。

去る5月21日に実施した指名競争入札の結果、秋田市新屋豊町14番2号、株式会社KCMJ秋田営業所が4,447万4,400円で落札し、仮契約を締結しているところでございます。入札執行結果と取得機械の概要につきましても、資料に記載しておりますのでご参照いただきたいと思います。なお、納入期限につきましては制作期間の6カ月を勘案し、いずれも平成27年11月30日と本格的な降雪期前にしており、また、除排雪作業の中心的な機械として活用する予定としてございます。

以上、議案第84号「財産の取得について」ご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上です。

○委員長（千葉 健） はい、当局の説明が終了しました。これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。はい、どうぞ。

○委員（佐藤隆盛） あの、一つ。今頃こんなこと聞いてかって言うかもしれねえども、例えばこのブルというのは、古い機械だから、まあ、ちょっと俺はよくわからねえども、普通、車で、大体買うなんてば、販売価格が300万だとすれば2割まけるとかって、大体それぐれえにしてやってるね。これって本当の価格からなんぼぐれえ安く、安くというか。要するに、なんぼだかっつのはわかったどもよ、普通は、当たり前についていけばおかしいども、なんと計算してるのかよくわからねえども。なんぼ、まけてるもんだんだかよ。

- 委員長（千葉 健） はい、次長。
- 次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 今回の指名業者は市内 2 箇所、市外 3 社で競争してございます。で、落札率、こちらについては 79.6%と、約 20%くらい安くなっております。2割くらいです。
- 副委員長（佐藤育男） 委員長、いいですか。
- 委員長（千葉 健） はい、どうぞ。
- 副委員長（佐藤育男） すいません。前のこのブルは、これなんとする。待機とか払い下げとかあるんですか。
- 委員長（千葉 健） 次長。
- 次長兼道路河川課長（進藤孝雄） 今現在につきましては、今年度は待機車両として、各支所に備え付けておく予定でございます。
- 委員長（千葉 健） ほかに質疑ございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（千葉 健） はい、質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論はありますか  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（千葉 健） 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。  
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（千葉 健） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

- 
- 委員長（千葉 健） 次に、議案第 85 号「淀川地区簡易水道水源施設整備工事請負契約の締結について」を議題といたします。当局の説明を求めます。井関次長。
- 次長兼水道課長（井関由紀夫） 引き続き、議案第 85 号「淀川地区簡易水道水源施設整備工事請負契約の締結」につきまして、ご説明申し上げます。  
資料 No. 3 議案書では 2 ページ、参考資料は「上水-1」でございます。大仙市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、議会の議決をお願いするものであります。  
それでは、参考資料「上水-1」1 ページをご覧ください。こちらには、淀川地区簡易水道の位置を示してございます。左側、西側の部分でございます。  
それでは次に、2 ページをご覧ください。淀川地区簡易水道水源施設整備工事に

つきましては、条件付き一般競争入札を執行した結果、大仙市大曲福住町6番6号、高吉・協和特定建設工事共同企業体が落札いたしましたので、6月2日に契約金額4億2,336万円で仮契約を締結したところであります。年度割額につきましては、年度ごとの工事の相当額として、平成27年度は1億7,369万6,400円、平成28年度は2億4,966万3,600円としております。工期は平成27年6月17日から平成29年3月17日までとしております。主な工事の内容としましては、取水施設新設として取水井2井、取水ポンプ設備1式、水源管理棟1棟で、水源から浄水場までの導水施設として導水管布設1,624.3m、浄水施設として、新水源の水質に対応した浄水処理として、既設の急速ろ過方式の工程にエアレーション設備及び凝集剤注入・混和設備を付加させるものでございます。その他に、電気計装、既存施設の解体工事、門扉などの外構工事を行うものです。

続きまして、参考資料の3ページには共同企業体結成名簿と入札結果を記載してございます。

続きまして、参考資料4ページの平面図をご覧ください。図中の緑の線で囲みしました区域が給水区域でございます。赤の三角形は新しい水源の位置、赤の六角形は現在の浄水場の位置でございます。図中の右と左にありますそれぞれ浄水場と水源地の施設の表で、それぞれ水色と黄色で網掛けをしてございますけれども、水色の部分が平成27年度工事予定で、黄色の網掛け部分は平成28年度で工事を行う予定でございます。

続きまして、ページの5ページをご覧ください。こちらには水源地の平面図。6ページのほうには導水管布設の平面図を。最終の7ページには浄水場の平面図を添付してございます。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長(千葉 健) はい、当局の説明が終了しました。これより質疑を行います。

質疑のある方はお願いいたします。はい、佐藤委員。

○副委員長(佐藤育男) すいません、参考資料の6ページですけど、私、あの、なんかぐにゃぐにゃとこう曲がってて、もっと最短コースとかって、こう、なんかあれあるもんだすか。障害とかなにかあって、こういう配管ルートになったのでしょうか。

○委員長(千葉 健) はい、次長。

○次長兼水道課長(井関由紀夫) 配管に関しましては、維持管理等も考えていきま

すと、現道等に布設するのが妥当かといったようなことで、現道を中心に、基準に、配管のほうを、布設を考えたところでございます。それによって、用地取得等の費用も発生はいたしません。

○委員長（千葉 健） はい、部長。

○上下水道部長（岩谷友一郎） ただいまの線形について若干補足させていただきます。今、佐藤委員のほうから、こうぐにやぐにやと曲がっているっていうところは、おそらく左側のところを主にこう想定、話されたのではないかと思います。で、協和 I C、協和インターと記載されている「至」というところの現道のところ、そこ橋梁になってます。ちょうどインターに入る、インターの手前の上を越している跨線橋になりますけれども。跨線橋というか歩道橋になりますけれども。あと、橋梁添架をなるべく避けたかったということで、今の 3 4 1 の道路から、現道の市道があるところを縫っていったという。農地とかには入らないで、道路を縫ったという形になりますので。橋梁添架をまず避けるということが一番大きかったものでございます。

○委員長（千葉 健） 佐藤委員、それでいいですか。

○副委員長（佐藤育男） コスト的にはやっぱり、それ、安いんですか。添架、橋梁添架と、こう路線長くする、

○上下水道部長（岩谷友一郎） 安かったと思います。で、やっぱり維持管理のことも考えて、先程言った橋梁添架はできれば避けたいと。

○委員長（千葉 健） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） はい、質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論ありませんか

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（千葉 健） 次に、閉会中の所管事務調査に関する件について、お諮りいたします。お手元に配付しました案件につきましては、議長に対し、閉会中の所

管事務調査の申し出をしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(千葉 健) 異議なしと認め、そのように決しました。

---

○委員長(千葉 健) 次に、委員派遣の承認要求についてお諮りいたします。7月22日から24日までの期間、所管する事項について行政視察を行うため、議長に対し、委員派遣の承認要求をしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(千葉 健) 異議なしと認め、そのように決しました。なお、詳細につきましては、後日連絡いたします。

---

○委員長(千葉 健) 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は、すべて終了いたしました。なお、本委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(千葉 健) 異議なしと認め、そのように決しました。これで、建設水道常任委員会を閉会いたします。

---

午後1時40分 閉 会

大仙市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会 建設水道常任委員会委員長 千 葉 健